

彗星課月報

Monthly Report of the Comet Section, September, 2008

課長 関 勉 T. Seki

幹事 松本敏一 T. Matsumoto 幹事 佐藤裕久 H. Sato

9月の状況 (佐藤)

☆ 205P/2008 R6 (Giacobini) (写真 a)

9月10日、IAUC 8975 に、中野主一氏(洲本市)の通報によると、板垣公一氏(山形市鉄砲町)と金田宏氏(札幌市南区)は、9月10.56日 UT、0.21-m f/3 反射を使用した CCD パトロールフレームから彗星を発見した。この彗星は、中央集光が強く、拡散状、25" のコマと東南東に伸びた 2' の尾があり、直ちに小惑星センターの NEO Confirmation Page に掲載され、井狩康一氏(滋賀県守山市)や門田健一氏(埼玉県上尾市)ら多数の CCD 位置観測者によって、20" ~50" のコマと p. a. 約 106°~124° に 20" ~66" の尾が観測された。Maik Meyer (Limburg, ドイツ)は、この彗星は D/1896 R2 (Giacobini) と同一であると提案され、中野氏によって同定された。この彗星は 17 公転し、1962 年 9 月 9 日に地球に 0.51 AU まで接近、1992 年 1 月 14 日には木星に 0.81 AU まで接近した。と通知された。

IAUC 8975 が発行されるまで OAA 彗星課メーリングリスト (以下 oaa-comet ML という。)や国内外の comets-ml や comet-obs にこの彗星の発見が報じられていた。

oaa-comet ML には、9月11日 01:07、東京都の佐藤英貴氏から「NEOCP に 13 等の明るい天体 ItKa01 が山形から報告されています。しかし日本では、もう西に低くなってしまっているので今晚の観測は難しそうです。」と第一報があった。

続いて 03:38 に、筆者から oaa-comet ML に「既に佐藤英貴さんなどからご案内のように山形の板垣さんによって彗星が発見されています。ItKa01 [2008 Sept. 10.5 UT, R. A. = 20 39.5, Decl. = -01 22, V = 14.9] Updated Sept. 10.74 UT [1 nighter] 次のような放物線軌道を計算しましたが、Maik Meyer は D/1896 R2 (Giacobini) と同一であることを示唆しています。」続いて「まだ IAUC が発行されませんが D/1896 R2 (Giacobini) の再発見であることはほぼ間違いありません。山形の板垣さんと北海道の金田さんの発見でした。…」と通知した。

更に 23 日は、筆者から oaa-comet ML に「IAUC 8978 によると、9月22日、D. T. Durig と K. N. Hatchett (Cordell-Lorenz 天文台、0.3-m f/2.5 反射)によって

205P/Giacbini に 2 つの分裂核が見つかりました。」と通知し、画像を紹介した。

○ 眼視観測報告

C/2007 W1 (Boattini)

2008	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
Sept.	3. 72	10. 5	4. 0'	3	-	-	4/5	3/5	49×32cmL	張替 憲	
	9. 70	10. 6	4. 4	2	-	-	-	-	75×40cmL	吉田誠一	
	9. 81	10. 3	4	2	-	-	4/5	3/5	25×15cmB	宇都宮章吾	

C/2006 OF₂ (Broughton)

2008	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
Sept.	3. 73	11. 2	2. 0'	6	-	-	4/5	3/5	49×32cmL	張替 憲	
	9. 70	11. 4	1. 6	6/	-	-	-	-	75×40cmL	吉田誠一	

C/2007 J1 (Boattini)

2008	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
Sept.	9. 69	11. 4	2. 0'	2/	-	-	-	-	75×40cmL	吉田誠一	
	9. 80	11. 2	2	2	-	-	4/5	3/5	25×15cmB	宇都宮章吾	

C/2007 N3 (Lulin)

2008	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
Sept.	26. 45	9. 5	2'	4	-	-	2/5	3/5	25×15cmB	宇都宮章吾	

6P/d' Arrest

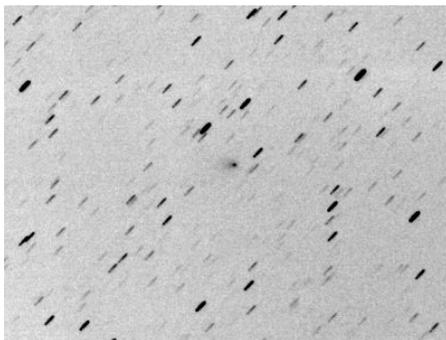
2008	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
Sept.	9. 48	9. 0:	2. 6'	2/	-	-	-	-	75×40cmL	吉田誠一	

○ 9 月中に発見・検出された彗星

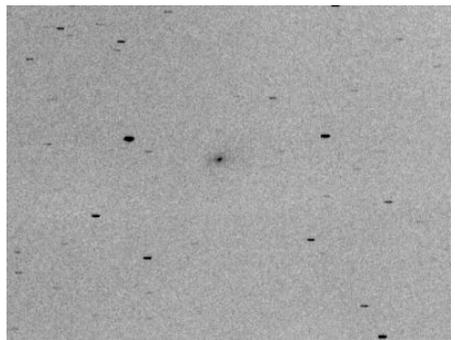
- ☆ P/2008 R1 (Garradd) 9 月 2. 50 日 UT、G. J. Garradd は、Siding Spring の 0. 5-m Uppsala Schmidt 望遠鏡で得た画像から彗星を発見した。15" のコマが見えた。(IAUC 8970, 2008 Sept. 5)
- ☆ P/2001 X2 = P/2008 R2 (Scotti) 9 月 5. 43 日 UT、J. V. Scotti (JPL, 月惑星研究所) は、Kitt Peak の 1. 8-m f/2. 7 反射で得た Spacewatch の CCD 画像から P/2001 X2 を検出した。5" コマと p. a. 272° に伸びた 0. 5' の尾があった。MPC 56802 の予報に対する修正値は $\Delta(T) = -0. 15$ day であった。(IAUC 8971, 2008 Sept. 5)
- ☆ P/2008 R3 (LINEAR) 9 月 7. 13 日 UT、LINEAR サーベイによって発見された小惑星状の天体が NEO Confirmation Page に掲載後、CCD 位置観測者によって彗星と確認された。(IAUC 8973, 2008 Sept. 8)

- ☆ P/1999 WJ₇ = P/2008 R4 (Korlevic) 9月 3.24 日 UT、小惑星センターの G. V. Williams は、9月 3 日、T. H. Bressi が Spacewatch 0.9-m f/3 反射で得た位置観測が P/1999 WJ₇ の検出観測であることを確認した。MPC 59598 の予報に対する修正は $\Delta(T) = +0.3$ day であった。(IAUC 8974, 2008 Sept. 9)
- ☆ P/2001 TU₈₀ = P/2008 R5 (LINEAR-NEAT) 9月 8.43 日 UT、G. V. Williams は、J. V. Scotti が Spacewatch 1.8-m f/2.7 反射で得た付帯的な位置観測についても P/2001 TU₈₀ の検出観測であることを確認した。MPC 54171 の予報に対する修正は $\Delta(T) = +0.3$ day であった。(IAUC 8974, 2008 Sept. 9)
- ☆ P/2008 S1 = 2008 JK (Catalina-McNaught) 9月 17.41 日 UT、R. H. McNaught は、Siding Spring の 0.5-m Uppsala Schmidt 望遠鏡で得た画像から彗星を発見した。B. G. Marsden は、2008 年 5 月 2 日に Catalina スカイサーベイの画像から A. Boattini が発見した小惑星状天体 2008 JK と C/2008 S1 が同一であることを確認した。(IAUC 8977, 2008 Sept. 19; IAUC 8978, 2008 Sept. 22)
- ☆ C/2008 QP₂₀ (LINEAR-Hill) 9月 23.26 日 UT、R. E. Hill は、Catalina スカイサーベイの 0.68-m Schmidt 望遠鏡で得た画像から彗星を発見した。小惑星センターの K. Smalley は、LINEAR の発見した小惑星状天体 2008 QP₂₀ と Hill の彗星と同定した。(IAUC 8980, 2008 Sept. 24)
- ☆ C/2008 S3 (Boattini) 9月 29.49 日 UT、A. Boattini は、Mt. Lemmon サーベイの 1.5-m 反射望遠鏡で得た画像から彗星を発見した。(IAUC 8986, 2008 Sept. 30)

その他比較的明るい彗星は、19P/Borrelly(写真 b)、C/2006 W3 (Christensen)、15P/Finlay、C/2005 L3 (McNaught) などであった。



(写真 a) 205P/Giacobini 2008, 09, 16
22h 33m-56.5m (JST) exp. 60sx15 TOA130+CCD
三重県伊賀市上野 田中利彦氏



(写真 b) 19P/Borrelly 2008, 09, 10
4h 10m-20m (JST) exp. 60sx7 TOA130+CCD
三重県伊賀市上野 田中利彦氏